

学習課題(中学校1年生) ④



【数学】

<学習内容>

数直線を基にして、減法の計算の仕方について考えてみよう。
～加法と減法にはどんなつながりがあるだろうか～

<取り組み方>

- (1) 加法の式 $(+2) + (\square) = +5$ の \square に当てはまる数を求める式を考えよう。
- (2) 数直線を使って、 $(+5) - (+2)$ の計算の仕方を考え、「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。(家の人に説明してもよいです。)
- (3) どの2数の減法でも(2)と同じように求めることができるか、いろいろな減法の式をつくって、数直線を使って計算してみよう。
- (4) 教科書 P28 の Q に取り組み、その結果から気付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。

<学習のヒント>

- (1) 小学校では、ひき算はたし算の逆であると学んだことを思い出してみよう。中学校では、ひき算のことを減法といいます。
- (2) 前回学習した加法の計算を数直線に表す方法を思い出して、(1)の式を数直線に表してみよう。 \square の部分が減法の計算の結果になります。
数直線への表し方に困ったときは、教科書 P27 の説明を読み、+5 にたどり着くには、2回目の移動をどちらにどれだけ動けばよいかを考えてみよう。
- (3) 2数の符号の組み合わせ(同符号や異符号)のパターンをいろいろ変えて数直線を使って計算してみよう。
どんな式をつくれればよいか困ったときは、教科書 P27 の問3を考えてみよう。
どのように考えればよいか困ったときは、教科書 P27 の例1を参考に考えてみよう。
- (4) 減法の式と加法の式を見比べて、変化しているところがどこか考えてみよう。